

JICA食と農の協働プラットフォーム (JIPFA)設立記念

日本の農業・農村は
途上国に何ができるか
国際貢献も循環型が長続き



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



農業ジャーナリスト
小谷あゆみ



アナウンサーから農業ジャーナリストへ
ローカルTV局時代 2001

「農」の価値とは？ 石川・能登の棚田で米づくり番組

食料生産だけではない
過程＝物語、見せ場
先祖代々

「農家の暮らし」が
作ってきた＝里山
SATOYAMA



静岡・松崎町の棚田

日本農業・農村の課題

農業人口減少

1970年 1020万人

2017年 182万人 平均年齢 67歳

人口減少 過疎 高齢化 労働力不足

耕作放棄→荒廃 鳥獣害

コメ離れ 食品ロス 気候変動・災害

耕す人も(食べる人も)減少

食料供給、国土保全

・・・どこか他人事(都市と農村の乖離)

1億総農ライフ！ 農的ライフスタイル＝農体験

理解→農村(生産者)をリスペクト

足りないのは**当事者意識**(自分ゴト)

「人任せ」をやめて

消費者自ら「**生産する喜び**」を取り戻そう！

シェアリング
アグリカルチャー



消費：生産の関係はフェアか？

都市：農村
需要：供給
大：小
先進国：途上国



両者は対立ではない
双方向！



友産友消 フェアトレード/エシカル

日本は課題先進国

課題だけか？

課題こそ資源(宝)

FAO(国連食料農業機関)2002年
世界農業遺産(GIAHS) 20カ国50地域
限りある資源、環境に適応し、何世代にも渡って
継承された伝統的な農業システム
= 貧困・環境問題の解決になる
(途上国の小規模農業・家族農業の評価)

緑の革命(プランA)からの反省

***「プランB」(持続可能な農業・多様性)**

日本は先進国で初めて認定

現在11地域

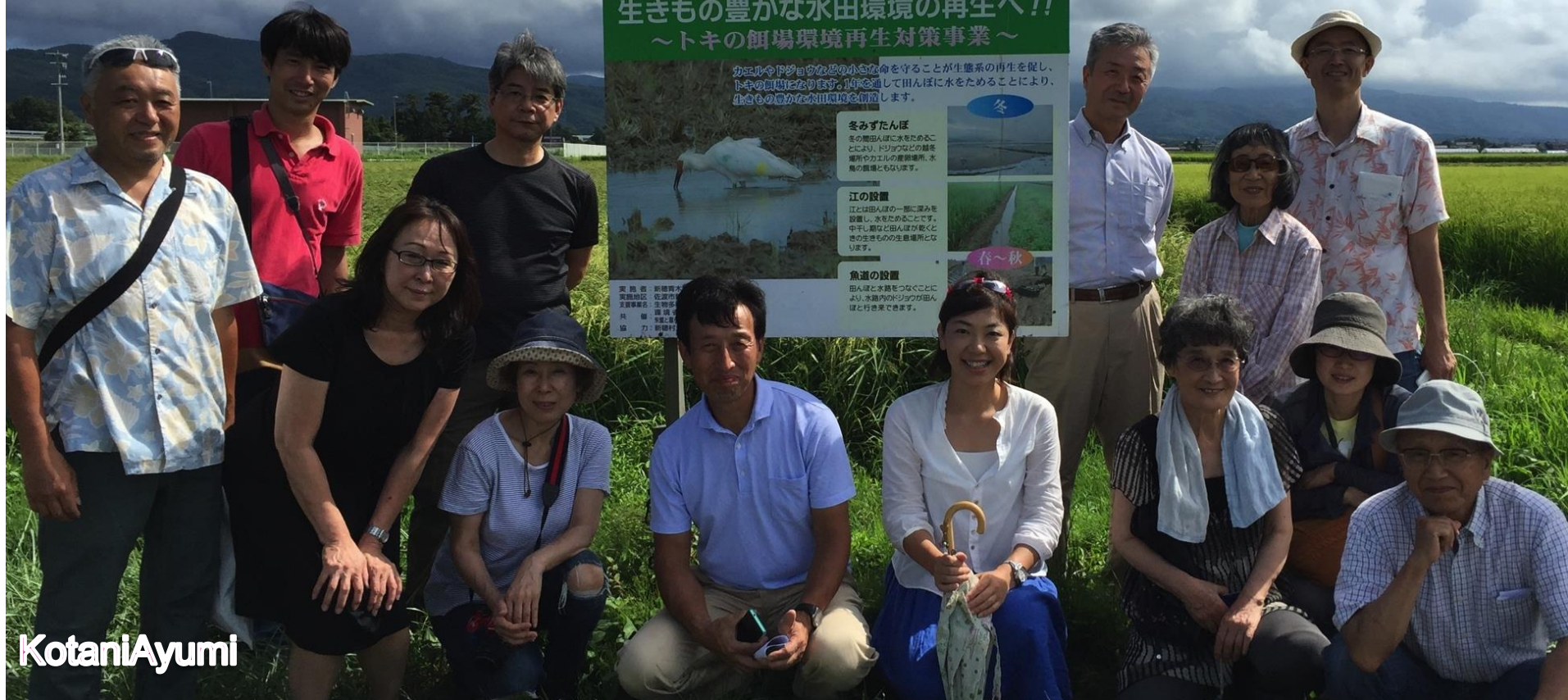
佐渡と能登が最初

2011年に認定



新潟・佐渡の棚田

生産者の取り組みでトキ復活350羽！



佐渡の生産者
の車で
田んぼへ行くと…



トキがいました！



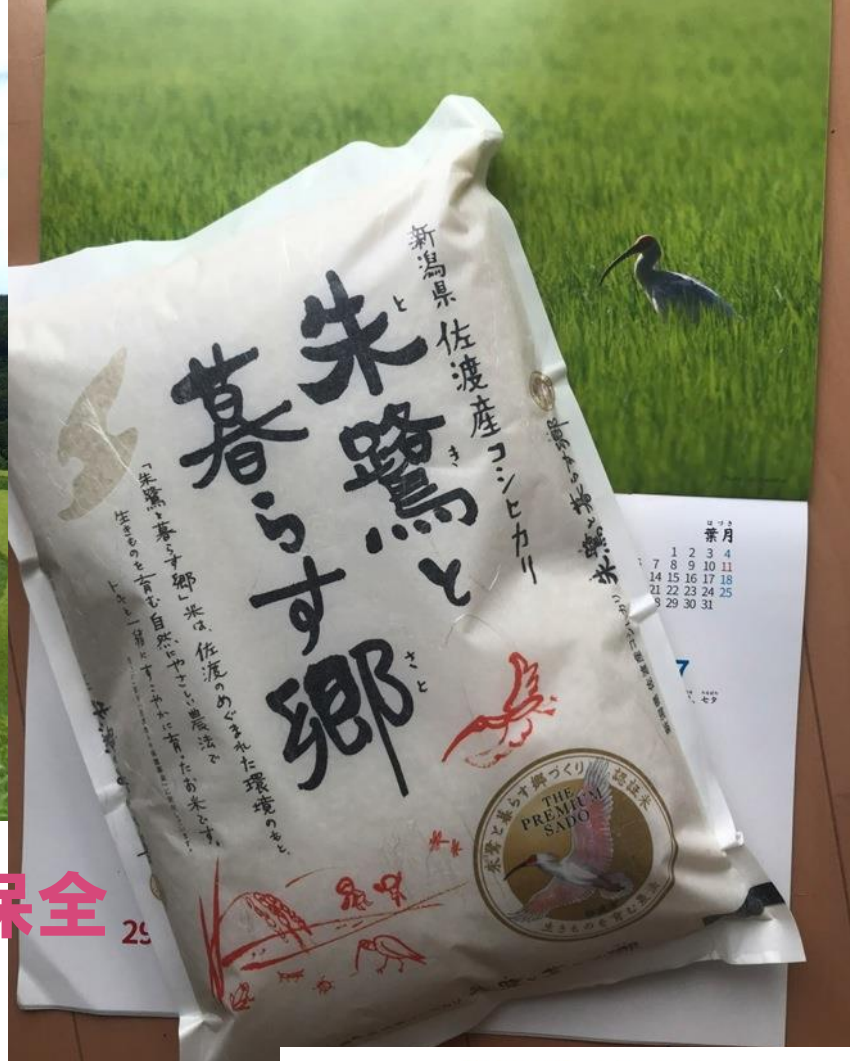
生産者が最もトキの生態を熟知

農家は自然と人間界をつなぐ通訳者

＊自然を破壊・搾取しない
食料も、生物多様性も育む
＝島を豊かにするのが
「持続可能な農業」

KotaniAyumi





トキ、棚田、生物多様性、環境保全
物語・応援消費・エシカル
世界農業遺産は
SDGsの17目標すべて達成
GIAHS同士、多国間でも連携

Kotani Ayumi





日本は農業生産大国ではないが
「農文化」大国である

島の農業は循環型・自立型
＝持続可能

(列島)

Kotani Ayumi

日本の農業は
途上国に何ができる

か
日本の課題
=コメ余り
飼料米

途上国や海外へ
・コメを売るのがか



・コメを作る**技術**を
売るのがか



コートジボワール共和国持続可能な農村開発



農業「卵」の専門家 石澤 直士さん

コメが主食
肥料が高くて買えず
不足分のコメを輸入

資本不足
技術不足
栄養不足

自立できないスパイラル

国際協力プロジェクト
ICAジャパン



コートジボワール共和国で持続可能な農村開発



農業専門家 石澤 直士さん

週に1個卵を
食べる暮らしを!!



純国産鶏

後藤もみじ
(自家繁殖可)

鶏糞を水田に
→コメ増収→
鶏の餌も→
→循環!!



外務省国際協力プロジェクト
ICAジャパン

KotaniAyumi

コートジボワール共和国で持続可能な農村開発 飼料米と日本の原種鶏で循環型・低コストな農業



農業専門家 石澤 直士さん

週に1個卵を
食べる暮らし!!

種も肥料も
農家が自給!



後藤もみじ



鶏糞で水稻
増収2.3倍!



コメを売るより双方向
循環＝持続する関係

17 パートナースhipで
目標を達成しよう



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

有限会社 農園星ノ環 (群馬県昭和村)

高原野菜の生産
(社員5名)14名
外国人実習生5名
インドネシア

現地に出向いて面接



農園星ノ環



インドネシア ロビヤティ(20歳 高校卒業)

一言も話さなかった少女

バスで10時間かけて面接に

面接
会場で



4月入社 涙を拭いたハンカチを返しに



農園星ノ環

起業家育成スケジュールを計画

1～3年

- ・ 仕事人として成長
(約1年) 一時帰国 (家族の幸せ)
- ・ 自身の環境や
地域の課題を知る

4～5年

- ・ 起業家として
(地域社会の幸せ)



農園星ノ環 = 起業家育成 現地と連携

HAPPY

インドネシアも昭和村もwin-win！ 持続する関係

日本の農業課題を 克服するプロセスを”武器”に (知見・経験・文化を使って) 途上国の役に立つ 互いに発展 win-win



友産友消
フェアな関係



ミラノ万博 2015地球の食料とエネルギー

日本館のテーマ Harmonious Diversity

共存する多様性 調和・平和・和食の和 共生



国連2019～28年「家族農業の10年」

世界の食料(76億人)の8割＝家族農業

日本は98%が家族農業



「家族農業の10年」
「小農の権利宣言」国連で採択
土地にあった日本らしい農業
小さく多様な集まりが
しなやかで強い
resilience

Ho scelto un menu favorito con touch panel
Let's choose the menu you like for touch panels.

タッチパネルで好きなメニューを選んでね



KotaniAyumi

令和=Beautiful Harmony 共生・調和

自分らしさ(日本農業らしさ)の発揮が 相手らしさを引き立てる



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
世界を変える力



JICA食と農の協働プラットフォーム(JIPFA)設立記念



日本の農業・農村は
途上国に何ができるか
国際貢献も循環型が長続き～

友達が喜べば
わたしも嬉しい

ご静聴ありがとうございました。



農業ジャーナリスト 小谷あゆみ

ayumimaru115@ybb.ne.jp